

令和6年度 霧島市立国分小学校 学校関係者評価

※ 評定：5（たいへんよい）、4（よい）、2（努力が必要）、1（課題があり早い対応が必要）の4段階

1 教育活動に関する評価

分類	評価内容	評定	意見等
児童	ア 児童の姿に、挨拶などの基本的な生活習慣が育っている。	4.29	○ 低学年の児童が挨拶をよくしていた。 ▲ 学びを楽しみにしている児童と宿題をするのも分からなくて嫌がる児童がいる。
	イ 児童に学力・体力の向上等が見られる。	3.71	▲ 一校一運動（縄跳び運動）の充実に向けて、さらに取り組んでほしい。
	ウ 児童は、学校に愛着をもち喜んで通っている。	4.14	
学校	エ 学校は、地域に学校の教育方針や特色などを伝えている。	4.43	○ 心の通うあいさつの指導が効果をあげている。あいさつをする子が多く見受けられる。 ○ 学校情報の発信に努められている。（学校だより・HP等） ▲ 児童の学力向上のため、短時間でもその子に合わせた指導をしてほしい。
	オ 学校は、保護者・地域の思いや願いなどに応えようとしている。	4.29	▲ 創立150周年記念式典は、もっと地域に情報を発信してもよかったのではないかな。
	カ 学校は、児童・住民の「命や安全確保の場」として機能している。	4.14	▲ 学校行事（特に運動会）について、一事一改善で取り組んでほしい。
	キ 学校行事やその他の教育活動は、地域に開かれる状況にある。	4.29	
	ク 教職員は、いつでも誰にでも相談（話）しやすい雰囲気である。	4.00	
	ケ 教職員は、保護者・地域の活動や対応に前向きである。	4.00	
地域	コ 地域の方々は、学校を誇りに思い慕っている。	4.43	○ 地域、人材、素材の積極的活用に取り組まれている。 ▲ 地域の行事に参加してほしい。 ▲ 世代による思いの格差が大きい。子供の声が聞こえない高齢者だけの地区も増えている。

2 自己評価に関する評価

評価内容	資料	評定	意見等
ア 学校教育活動の評価が適切になされている。	職員学校評価（P1～4）	4.29	○ 1学期に比べ、学力向上、授業改善について努力されている。（タブレットの活用、オンライン化） ▲ 1学級30人以下の人数がよい。
イ 児童による評価が適切になされている。	児童の振り返り（P5～6）	3.86	○ 読書活動についてもさらなる取組が大切である。 ▲ 家庭学習への取組や充実に向けて、さらに努力をしてほしい。 ▲ 各項目70%を目指して努力してほしい。
ウ 保護者による評価が適切になされている。	家庭での振り返り（P7～10）	3.71	▲ 家庭で取り組むべきことと学校から家庭へ周知徹底させるべきことの両方の意見が見受けられる。（学校のきまり・学校行事等） ▲ 各項目の評定が低すぎる。 ▲ 給食時間の黙食はそろそろやめた方がよいのではないかな。 ▲ 地域と保護者の方々の関わりが少ないように感じる。